

「令和8年度 道ぎょれん会取引先懇談会・懇親会」 Jブルークレジットによるカーボン・オフセットの取り組みについて

北海道漁業協同組合連合会（本所：北海道札幌市、代表理事長：阿部国雄、以下「北海道ぎょれん」）は、生物多様性の保全と持続可能な海づくりを目指し、お取引先様との懇談会・懇親会（以下「道ぎょれん会」、運営者・参加者335名、8月24日～28日 全国4都道府県にて開催）によって排出されたCO₂を、Jブルークレジットの活用により全量オフセットしました。

道ぎょれん会開催による環境負荷を把握・開示し、削減努力を行うとともに、漁場の保全活動を行っていくことが海を生業とする我々の使命です。これからも、皆さまとともに持続可能な海づくりをすすめてまいります。

「令和8年度 道ぎょれん会取引先懇談会・懇親会」

- Jブルークレジットによるカーボン・オフセットの取組について -

北海道ぎょれんは、生物多様性の保全と持続可能な海づくりの一助となることを目的として、Jブルークレジットによるカーボン・オフセットを実施しました。

Jブルークレジット®とは



海洋生物の作用によって、大気中から海中へ吸収されたCO₂由来の炭素(=ブルーカーボン)に対し、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合が認証・発行・管理する独自のカーボン・クレジットのことです。

ブルーカーボンについて

海底に堆積した炭素は分解されにくく、数千年間保存されるため、空気中から安定的にCO₂を除外・保持します。

特に、浅い海域(海洋全体の<1%)の海底で貯留されるブルーカーボンは、海洋全体の約80%を占めます。

令和7年度末までに日本各地の自治体・漁業者により120のプロジェクトが認定され、ブルークレジットが創出されています。

クレジット制度活用によるメリット

【創出者】

- ◆ 新たな資金源の確保
- ◆ 持続可能な漁業活動
- ◆ 生物多様性の保護
- ◆ 環境問題への意識醸成(地域住民)

【活用者】

- ◆ 海洋環境改善活動の支援
- ◆ 気候変動対策への貢献
- ◆ 生物多様性の保護
- ◆ 環境問題への意識醸成(社員・消費者)



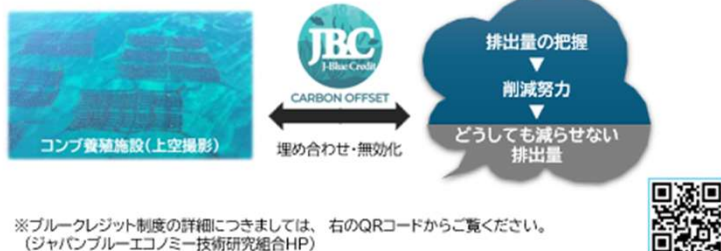
CO₂排出量の内訳について

排出量は26.93t-CO₂、参加者1人あたりの排出量は約76.7kg-CO₂となりました。弊会役員が宮城・東京・大阪・福岡の4拠点を移動し、各地で取引先との会合を催す形態であることから、相対的に航空機による移動人数が少なくなり、会場設営・運営に関する排出が全体の55.4%と過半数を占めました。その他の排出源としては、運営者・参加者の移動に関するものが28.1%、出席者の宿泊が14.6%となっています。



取り組みへの思いについて

北海道ぎょれんは、生物多様性の保全や海洋環境の保護につながる活動を支援しています。今回、道産昆布の養殖に係る取り組みから創出されたJブルークレジットを活用し、道ぎょれん会の開催によって排出されたCO₂を全量オフセットしました。今後も、各種会議の開催に伴う環境負荷を把握・開示し、削減努力を行うとともに、脱炭素社会の実現に向け、様々な形で豊かな海づくりを支援していきます。



◆ 本件に関するお問い合わせ先

北海道漁業協同組合連合会 総務企画部（担当：高木、斉藤、安酸）
TEL 011-281-8560（平日8：30 ～ 17：00）